

令和3年度2学期始業式（高校）

2学期が始まりました。この夏休みは猛暑であったり、何より新型コロナウイルスの感染拡大により大変な毎日だったと思います。しかし、その中で皆さんはよく努力してきました。夏期講習はもとより教育センターでの自学自習、個人的に英検対策などを先生方から指導を受けたり、もちろんインターハイをはじめ部活動での頑張りも嬉しく思います。また、カモンイン国学院では、説明や案内、講座の手伝い、そして駐車場の係など、よく手伝ってくれました。お礼を言います。ありがとう。アンケートの感想を読んでも、「説明がとても分かりやすかった」「親切丁寧にいろいろと教えてくれた」「場所が分からなくて迷っていると、優しく声をかけてくれた」「皆、本当によく挨拶してくれた」など、お褒めの言葉が並んでいました。皆さんも胸を張ってよいと思います。このことは私も本当に嬉しく思います。

ところで、皆さんにお願いです。新型コロナウイルスの感染拡大は今までの比ではありません。実際に感染して辛い思いをした人、人たちもいます。しかし、国として一斉休校は行わない方針であり、部活動の大会、特に部によっては年間で最も大きな全国大会も控えています。3年生もこれから推薦入試をはじめ大切な受験を控えています。今まで以上の感染予防に努めながら、教育活動を進めていくしかないのです。もちろん感染状況のさらなる悪化や本校での感染者の状況によっては休校にせざるを得ない時が来るかもしれません。

しかし、昨年から語ってきたように、感染は人の命、健康を奪います。また、描いていた未来まで奪うこともあります。特に皆さんは受験を控えています。感染または濃厚接触によって受験が出来なくなったり、目標としていた大会への予選・本戦に出場できなくなることも、夏休みの例を見て十分理解していると思います。ですから、検温（家できちんと計り、熱があったら休む）、手指消毒、マスク着用を徹底して下さい。特にマスクです。自転車の乗っている時は、出来れば着用してほしいのですが、やや苦しいので仕方ないこともありますが、体育は全て講義にしますし、マスクを外すのは食事の時だけです。ですから食事も絶対に向かい合わせになることなく、黙って食べる、このことを徹底して下さい。出来るだけ近寄ってのおしゃべりなども控えることです。もう一度言います。命、健康、そして一人ひとりの未来・夢・目標を守る行動をしましょう。とにかく今は我慢です。よろしくお願いします。

さて、まず1，2年生、私が担任時代に生徒に言っていたことのいくつかを言っておきます。最初は、もう既に出来ている人が多いですが、生活のルーティーンを確立しろということです。例えば朝何時に登校し、教室で始業時間まで何かの問題を解く、昼休みの10分間は英単語を覚える、放課後は教育センターで何時まで勉強し、その後、帰宅して勉強、そして決まった時間に寝るといったようなことです。よく言われることですし、至極当たり前のことなのです。

が、本当に大事です。スポーツ選手の試合やプレーに入る前のルーティーンというのが有名ですが、あれもルーティーンを重ねることによって心が落ち着く、ここぞという時に平常心で向かうことが出来るのです。また、この中でも別な意味で決まった時間に寝るとというのが大切です。出来るだけ夜遅くまでやるぞと言っていると、結局長い時間、間延びして、意識していなくても、どこかなり時間があると思うと、だらだらと学習してしまう、決まった時間であるとその時間までに何と何をやらなくてはいけない、そうするとスキマ時間を上手く使おうとする、集中して何とか終わらせようとする、ここがポイントです。試験というのはほぼ全て時間が決まっています。面接ではその中で自分の言いたいことを言ったり、文章を書いたり、そして問題を解かなければなりません。もしかすると時間が1.5倍、2倍とかあれば完璧に解ける人がいたとしても試験は時間が決まっているから、それは許されません。ですから、そうした集中して短時間に終わらせるという姿勢を普段から養っておくことが必須です。

特に、2年生は進路も本格的に考える時です。こうした状況下であっても、進路に関する道はゆるやかにはなりません。君たちに求められる力は、さらに多くなり、大きくなっています。「そのうちに」と言っている間に取り残されてしまいます。全体が本気になった時に自分が本気になったのでは、その位置は変わりません。追い越すには周囲がまだまだと思っている時に、先に本気になることです。資格もできるだけ2年生のうちに取得するなど、学力を向上させ、気持ちの上で余裕を持って3年生になりましょう。そのスタートが今です。

そして、3年生。これから、いよいよ進路の目標に向かって大詰めの時を迎えます。様々なプレッシャーがあるでしょう。「頑張れ」と言われても、「そんなことは分かっているよ」「自分なりに十分頑張っているよ」と思ったりしているでしょう。なかなか努力しても結果が出なくて焦る時もあるでしょう。しかし、今の皆さんは、思い切り自分の進みたい道を歩んでいけるわけです。周囲の皆が皆さんの夢を叶えたいと動いている、考えてみるとこんなに幸せなことはいわゆるです。自分がやりたいことをするために、時間を使える、周囲の応援と支えがある、言わば皆さん一人ひとりが主役なのです。皆さんの周りには家族はもちろんのこと、私たちがいます。そして一緒に頑張る仲間がいます。一つになって向かっていきましょう。大丈夫です。

この夏、東京オリンピックが行われ、現在パラリンピックが行われています。テレビ観戦していて様々なことを思いました。その一つを話します。世界ランキングで上の方が敗れたり、逆に下の方が上の人に勝ったり、いわゆる番狂わせというものがありました。その時の調子というものもあるし、少し前のランキングだからというものもあるかもしれません。しかし、そこで大きく物を言ったのは、精神的なものだったと思います。私の大学時代の話ですが、当時、大学では体育の実技と理論を取らなければいけませんでした。その体育理論で大西鐵之介という早稲田大学ラグビー部の監督を3度、日本代表監督も務めた人

の講義をたまたま受けていたのです。大西先生からは、数々の印象に残っている話、言葉を聞きました。例えば、どうやって日本代表を強化したか、早稲田高等学院がいかにして目黒高校に勝ったかなど、また、選手を鍛えるために寮の階段をはずして縄を下げた、そのため、選手たちは2階に上がるためには縄をよじ登らなければならないとか、そのような面白い話もあったのです。その中で、後に名言として後世に残る言葉がありました。その言葉通りには私たちに言っていなかったのですが、確かにこれと同じ意味のことをおっしゃっていました。最後にこの言葉を皆さんに贈ります。

「勝負に絶対はない。しかし、絶対を信じられない者に勝利はない」。